



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校

令和4年度(2022)3月号

<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》

◇心豊かな人

◇自ら学ぶ人

◇健康な人

『自主自律』の精神

春爛漫 最高の卒業式を！

校長 宮崎 宏明

春は三寒四温、暖かさと寒さを繰り返しながら着実に季節は進んでいきます。では、春の訪れは暖かさから感じていくのかというと、特に寒い地域ではそうでもないようです。

日本で2月から3月初旬頃は早春と言われますが、唱歌「早春賦」(作詞:吉丸一昌、作曲:中田章)で「春は名みの風の寒さや」とか「今日も昨日も雪の空」とあるように、まだまだ寒く一面白銀の世界という地域も多いと思います。そんな地域でも一日一日と日が長くなり、太陽の明るさを感じるようになっていきます。毎年暗く長い冬を経験する高緯度の国々ほどこうした変化には敏感なようで、ロシアではこの最初に訪れる春を「光の春」と呼ぶようになったそうです。

続いて3月になる頃に訪れるのは「音の春」です。雪国では雪解けの水が勢よく流れる音などを指すのですが、都会に住む私たちにとっては、鳥のさえずりや外で元気よく遊ぶ子どもたちの声といったところでしょうか？

3月の半ば頃、最後に訪れるのが「気温の春」です。暖かさを感じた動物は冬眠から目覚め、土から出た昆虫は羽化し、春の花は咲き誇るようになります。まさに春爛漫の季節です。

○我慢してきた3年生には最高の卒業式を

そんな春爛漫の3月17日(金)に3年生は卒業していきます。コロナ禍の直撃を受けたこの学年は、小学校の卒業式もままならず、中学校の入学式は6月になってからという状況の中で中学校生活をスタートさせました。その年は学校行事もほとんどできず、今でこそ色々なことができるようになりましたが、ずっと我慢を強いられてきた学年でした。そんな3年生の皆さんだからこそ、最高の卒業式にしたいと願っています。マスクはしますが力いっぱい歌を歌います。卒業証書授与ではマスクをとり、保護者の皆様にも成長した立派な姿を見ていただきたいです。そして最後は割れんばかりの拍手で3年生を送りたいと思います。

○「自主・自律の精神」の継承を期待

子どもたちはこの1年間色々な経験をしながら確実に成長してきたと確信しています。これまで西宮中をリードしてきた3年生は卒業してしましますが、2年生は2月のスキー移動教室、1年生は校外学習などを通して進級への自覚を高めてくれたと思っています。何より西宮中といえば「自主・自律の精神」です。1・2年生は、卒業式で3年生の立派な態度を目に焼き付け、次は自分たちがこの西宮中を背負っていくという自覚を高め、「自主・自律の精神」を根幹とする「西宮ブランド・西宮プライド」を継承して欲しいと願います。



○来年度の新型コロナウイルス感染防止の取組について

私たちが過ごしたコロナ禍の3年間はあまりに長く、学校ではマスクの着用はもちろん、給食時には同じ方向を向いた黙食などが当たり前の生活様式として定着しています。一方、ニュース等でご存じとは思いますが、政府は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、5月8日をもって感染者に就業制限や入院勧告ができ、医療費を全額公費で負担する2類相当から、季節性インフルエンザと同じ5類に移行する方針を発表しました。こうした動きに合わせ、文部科学省、都や区の教育委員会では、新年度からの学校における感染防止の取組を見直すようになりました。こうした動きはさらに前倒しされ、この3月の卒業式においても原則マスク着用を求めないなどの方針が示されました。マスクをはずすことなど、子どもたちの気持ちを変えていくにはまだまだ時間がかかると思いますが、新年度には、校内でのマスクの着用、毎日の検温確認、給食の食べ方、合唱・合奏や調理実習の扱いなどについて、新しい取組が始まっていくことになると思っています。具体的には都や区の教育委員会の方針を受けながら検討し、保護者の皆様にもお知らせしてまいります。

○教員の異動公表について

このことにつきましてもご存じの方は多いと思いますが、これまでは4月1日に新聞等で公表され、子どもたちには4月6日の始業式で発表していた教員の異動について、都教委は卒業式後の年度内に公表する方針を示しました。これを受けて本校では3月24日の修了式に子どもたちに発表する予定です。ただし、新年度になってから改めて子どもたちと保護者の皆様にお知らせするとともに、5月には離任式を行う予定です。

移動教室（2年）

2月8日（水）から2泊3日の日程で菅平へ移動教室に行ってきました。期間中は、あまり天候には恵まれませんでした。誰一人力かをする事なく、帰京者が出ることもありませんでした。スキーを初めておこなう生徒が大勢いましたが、最終日には別人のように上達し、誰もが大きな達成感に満ちた表情をしていました。

初日のスキー実習のあとは、インストラクターの方々のもと、雪像作りを行い、雪に慣れ親しみました。優しく丁寧に教えてくださったインストラクターの方々、お世話をくださった宿泊先のソノタックの方々など多くの方々のサポートに感謝する気持ちを抱けたこと、仲間との大切な思い出を作れたこと、多くのことを学べた3日間でした。また、実行委員をはじめとした生徒一人ひとりが、しおりの日程表を見て、声を掛け合いながら行動した結果、スケジュールに大幅な遅れが生じることなく、スムーズに3日間の行程を終えることができました。生徒が自主的に動いたその姿が非常に立派でした。この経験が集団生活で成長できた部分を、今後にいかしたいと思います。（2学年主任）



校外学習（1年生）

2月10日（金）はあいにくの雪でしたが、生徒たちは元気に班ごとに都内の各地へ出発していきました。12名の実行委員が校外学習のきまりを作りました。また班ごとにコースを立て、昼食の場所を決めて事前学習を行いました。何度もコースを練り直し、「もう大丈夫」と思っていたのですが…。道に迷ったり、雪のために開館時間が短縮され見学できなくなったり、次のバス停まで走っていかうとしてバスに追い抜かれたりとハプニングが多くあったようです。しかし、生徒たちは「Try and error～経験は成長に～」のスローガンのもと、どうすればよいのか判断をして行動してくれました。傘を差しながらも仲間と協力している姿は笑顔にあふれていました。「準備をしても想定外のことが起こること」「係の仕事を理解して役目を果たすこと」「厳しい判断と最善を尽くした行動が必要なこと」など多くのことを学びました。

1年生は残り1か月。身に付けた力をさらに伸ばして2年生につなげていきます。（1学年主任）



百人一首大会（2・3年生）

それぞれ、各クラスで3～4名のチームを作り、他クラスと対戦します。新型コロナウイルス感染症対策等もあり、初めての開催でしたが、見ている方も手に汗握る、白熱した試合がいろいろなところで行われていました。



3年生、白熱した対戦が繰り広げられました。

2月18日（土）
1時間目に、各教室に分かれて対戦しました。

2年生、どのクラスも真剣な眼差しで対戦しています。

2月18日（土）
2・3時間目に
対戦しました。



一番人気は「ちはやふる」で始まる札ですが、そのほかにもそれぞれに得意札があり、最初の数音が読まれた瞬間に「はい！！！！！」と目にもとまらぬ速さで取りにいく生徒もいました。百人一首を通して、日本の伝統や文化を感じてくれたらうれしいです。（国語科）

《3月の主な行事予定》

- 1日（水）展示会準備（5⑥カット）
- 2日（木）西宮祭展示会 始
- 4日（土）土曜授業日 西宮祭展示会 終
落部鑑賞教室（1年）
- 6日（月）生徒会朝礼 避難訓練
- 8日（水）特別時間割（3年）始
- 9日（木）都立後期二次検査 普通救命講習会（3年）
- 13日（月）全校朝礼 安全指導

- 15日（水）卒業式予行 3年生を送る会
- 16日（木）卒業式準備（3年5⑥カット）
- 17日（金）卒業式
- 20日（月）保護者会（1年・2年）
- 23日（木）大掃除
- 24日（金）修了式
- 27日（月）春季休業日 始

＜編集後記＞

令和4年度も残すところ僅かになりました。3年生は残り僅かの登校日を残し、いよいよ中学校の卒業が目前に迫っています。1、2年生も4月からの進級を控え、年度最後のまとめを行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響が弱まってきたとはいえ、今年度もまだまだ行事の内容に、制約や制限がある状況でした。しかし、感染症対策を講じながら、生徒たちは様々な学習、体験、学校生活の中で、日々、たくましく仲間とともに成長してきました。西宮だよりでは、生徒の成長や活躍、学校としての取り組みを紹介させていただきました。次年度以降も、本校の教育活動を通じた生徒の成長を発言していきたいと思います。どうぞ、宜しくお願いいたします。

（西宮だより担当）